

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	総合国語	担当教員	大橋崇行	
学年学科	4 年 全 学科	前期もしくは後期	必修	1 単位(学修)
学習・教育目標	(A-1) 20% (C-1) 80%		JABEE 基準 1 (1) : (a) (f)	
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 第 3 学年次までの学習を踏まえ、専門書の読解やレポートの作成、討議など、高専生に必要な幅広い日本語運用能力のさらなる向上を目指す。 特に本教科では、ライトノベルを中心とした現代のサブカルチャーについて書かれた論文を読解し、文化や社会について考え、表現することにより、以下の 5 項目に関する能力を身につけることを目指す。 ①漢字・語彙に係る日本語の基礎的能力 ②論理的な文章の読解能力 ③現代の社会・文化に関心を持ち、問題を発見する能力 ④一つの問題について考え、議論をする能力 ⑤自分の考えを適切な日本語を用いた論理的な文章で表現する能力		<b>成績評価の方法：</b> 中間・期末試験各 100 点+小テスト 100 点(換算)+授業中の発表および課題 100 点+レポート課題 100 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行う。 <b>達成度評価の基準：</b> 以下に掲げる各能力について、大学の一般教養課程と同レベルの問題を試験で出題し、それぞれが 6 割以上の正答レベルまで達していること。なお、③については授業中の発表とコメントシート等の提出課題、④についてはレポートの提出課題を通じて 6 割以上の評価を獲得すること。 ①漢字と語彙に関する問題をほぼ正確に解くことができる ②論理的な文章の内容を把握し、要旨をまとめる問題をほぼ正確に解くことができる ③現代の社会・文化に関心を持ち、そこに見られる問題について考え、議論することができる ④自分の意見を、的確な日本語を用い、論理的に表現することができる		
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 授業では教科書に掲載された論文について、それに関わるプリントを用いながら板書を用いて解説を行う。毎時間コメントシートや課題を記入する機会があるので、必ず提出すること。第 2 回以降、授業の中に毎回プレゼンテーションの機会を設けるので、発表担当者は必ず準備すること。また、レポートの課題が期限までに提出されない場合は成績評価の総得点率が 6 割に達することがきわめて難しくなるため、授業への関心を高め、必ず提出すること。				
<b>教科書および参考書：</b> 『ライトノベル研究序説』(一柳廣孝・久米依子編, 青弓社, 2009,4) を教科書として用いる。また適宜プリントを配布する。『ライトノベルは好きですか? ~ようこそ! ラノベ研究会~』(大橋崇行, 雷鳥社, 2013,4)、および『ライトノベル・スタディーズ』(一柳廣孝・久米依子編, 青弓社, 2013,7 ※後期のみ) を参考書として薦める。				
授業の概要と予定：前期		教室外学修		
第 1 回：授業ガイダンス		小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 2 回：ライトノベルとは何か		小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 3 回：メディアミックス 1		小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 4 回：メディアミックス 2		小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 5 回：サブカルチャー批評 1		小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 6 回：サブカルチャー批評 2		小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 7 回：日本文化の現状		小テスト予習		
第 8 回：中間試験				
第 9 回：フォローアップ(中間試験の解答の解説など)、および、レポート課題についての説明		小テスト予習、プレゼンテーション準備		
第 10 回：ライトノベルができるまで		小テスト予習、プレゼンテーション準備、レポート準備		
第 11 回：読者論		小テスト予習、プレゼンテーション準備、レポート準備		
第 12 回：少女文化と少年文化 1		小テスト予習、プレゼンテーション準備、レポート準備		
第 13 回：少女文化と少年文化 2		小テスト予習、プレゼンテーション準備、レポート準備		
第 14 回：一般文芸とライトノベル		小テスト予習、プレゼンテーション準備、レポート準備		
第 15 回：レポート課題提出、読み合わせ		小テスト予習		
期末試験		-		
第 16 回：フォローアップ(期末試験の解答の解説など)		-		